

2018年8月27日 三現主義について

**※一言要約： 三現主義で現状を正しく把握し、五ゲン主義で解決を。**

三現主義の三つの“現”とは、現場、現物、現実の3つです。

- ① 現場に足を運び、場を確認する。
- ② 現物を手に取り、物を確認する。
- ③ 現実を自分の目で見て、現実を知る。

机に向かっているだけ、データだけでは、判断が難しく、判断を間違えることもあります。現場に行って、現物を手に取り、現実を直視することで、いつもの確に、見逃しなく問題を捉えることが出来ます。

5ゲン主義とは、三現主義に、原理、原則を加えた考え方です。

- ④ 原理とは、物事を成り立たせる法則や、それを起こすメカニズム等のことを言います。
- ⑤ 原則とは、多くの場合に当てはまる物事の決まりや規則のことを言います。

5ゲン主義は、物事の本質を見極め、的を得た改善・改革を行うために重要な考え方になります。

問題解決のためには、三現主義で実際に発生している状況を確認し、現状が原理原則からのズレがないかチェックし、原理原則に基づいて解決策を決めていきます。

また、解決策の実施についても、三現主義で現場、現物、現実が問題ない事を確認する必要があります。

現場で取得しているデータがいつもと違う傾向を示した時など、業務改善テーマに取り組む時は、過去の経験やデータだけを使って机上で議論をするだけではなく、5ゲン主義で解決に向けて取り組むことが重要です。